基山町

議会だより

基山町議会 検索

平成30年 第４回定例会

12月議会

No.68

【特 集】 町民に開かれた議会をめざし
新たな議会運営を明確に宣言

基山町議会基本条例を制定

子ども議会に参加した生徒

平成31年１月31日発行

特集

基山町議会基本条例を制定

町民に開かれた議会をめざし 新たな議会運営を明確に宣言

基山町議会基本条例・前文

基山町は、日本最古の朝鮮式山城である国指定特別史跡の基肄城跡がある基山（きざん）を望み、豊かな自然環境の中で先人たちが悠久の歴史と文化を育んできた。

そして今日、地方自治は大きな社会の潮流の中でその自主性、自立性が問われる時代を迎え、真の地方自治の実現を目指していかなければならない。

基山町議会は、日本国憲法に定める地方自治の本旨に基づき、二元代表制の一翼を担う議会の機能を高めることにより、町民福祉の更なる向上を目指すことを基本理念とする。また、町政の意思決定機関として、その権能を最大限に発揮できるよう、自らの果たすべき役割と責務の重要性を改めて認識し、町民の負託に応えていく決意である。

よってここに、基山町議会の最高規範としてこの条例を制定する。

★これからの議会、何が変わるのか。

平成28年３月末までに、この議会基本条例は、自治体全体の約４割で制定されており、全国的にも議会改革は進んでいます。そして、基本条例として議会の活動原則を決めることの意義を町民が一緒になって考えていくことが求められています。

地方自治の原則から導きだされた３つの原則（①住民と歩む②議員間討議を重視する③それらを踏まえて首長等と政策競争する）に基づきつつ、この議会基本条例は、基山町議会が進める議会改革が反映された条例となっています。

基本条例の７大特色

①情報公開
議会報告会の実施、各会の傍聴、広報充実

②監視機能
二元代表制の下、執行機関のチェック

③町民参加
意見交換会、請願および陳情

④自由討議
議員間の自由討議

⑤政策立案
研修の充実、政策形成への力量アップ

⑥議会対応
災害等緊急時の機能確保

⑦説明責任
議会の議決、運営に自らの責任を果たすこと

―条例の構成―

前文
第１章　総則　（第１条）
第２章　議会及び議員の活動原則　（第２条・第３条）
第３章　町民と議会の関係及び連携　（第４条）
第４章　町長等と議会の関係　（第５条－第８条）
第５章　合議機関としての議会　（第９条）
第６章　議会改革の推進　（第10条）
第７章　議会及び議会事務局の体制整備　（第11条－第16条）
第８章　災害時の議会対応　（第17条）
第９章　議員の身分、待遇及び政治倫理　（第18条・第19条）
第10章　最高規範性及び見直し手続　（第20条－第22条）
附則
（条文は、解説付きで町議会ホームページに掲載しています。）

議会基本条例策定（これまでの流れ）

平成27年12月
議会改革特別委員会を設置

→

平成28年8月
条文の作成開始
議会基本条例策定小委員会を設置
①条文の項目案を作成
②小委員会で検討
③議会改革特別委員会に報告
小委員会を17回開催し、素案を作成

→

平成30年4月
議会改革特別委員会で素案を検討
委員会を16回開催し、条文内容について審議

→

平成30年10月～11月
パブリックコメントを実施
意見交換会（町議会と語ろう会にて）

→

平成30年12月
議会へ委員会提案
12月定例会に条例案を上程し全員賛成で可決

『第６回　町議会と語ろう会』を開催しました

＊参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。頂いた意見は、今後の議会運営に反映させていけるよう議論を深めていきます。

＊テーマごとの意見

- 若者が農業できる環境を整えてほしい。
- 駅前を活性化し、観光地化するのにロッカーの設置を。
- 町営・県営住宅で空き家が増えているが、２台分の駐車場があると入居者が増えるのでは。
- 基山町は災害が少ない。災害のない町をキャッチフレーズにできないか。
- 防犯カメラは、今後何台くらい設置計画があるのか。
- 災害時、防災無線があるが聞こえにくい場合が多い。半鐘の設置も有効では。
- お金の活用・運用・貯金などの教育も含め、基山町独自の魅力ある教育を行い、定住促進に繋げて。
- 町老人クラブに入ると世話人をさせられ忙しくなるので入らない。多忙の対策案はないのか。
- 高齢者の認知症が多くなってきた。今後が心配だ。

＊町への意見に対しては、回答が出された後、その内容を町議会ホームページに掲載します。

＊議会基本条例（案）に対しての意見

- 基本条例を作ることはいいことだ。
- 議会改革を行うことにより、町民にはどんなメリットがあるのか。
- 既に決まっている議会と町長の権限について第４章に明記しては。
- 議会改革で行ってきたことについて検証できる数字等が公表されていないので意見を求められても意見が出せない。
- 行政に提出するまちづくり提案書を、議会でも関連があれば請願および陳情と捉え反映して、できれば第４条の中に入れてほしい。
- 第４条第４項で、議会は意見交換を通じて、広く町民の意見を聴取し、政策提案を行うとしているが、年に１回くらいの開催では聴取できないのではないか。最低年３回は必要では。

＊町議会と語ろう会に参加していただいた方に基山町議会基本条例（案）を配布し、条例の概要説明の後、意見を伺いました。

4月から組織機構改革

子育て支援業務のワンストップ化を推進

審査、調査の担当課　総務企画課・財政課・まちづくり課・税務課・教育学習課・出納室

総務文教常任委員会

第4回定例会 議案審議

平成31年度組織機構改革実施に伴い、課設置条例が一部改正

問 健康増進課新設の理由は。

答 子育て世代包括支援センターを平成30年10月に設置。保健センターの支援業務が多機能になり、新たに責任者を配置する必要が生じた。

問 公営住宅に関する業務を建設課から定住促進課に移行する理由は。

答 PFI事業による地域優良賃貸住宅も公的賃貸住宅となり、一体的に住宅施策を行っていくため。年度途中に社会人枠として不動産業務経験者の採用も行った。

問 庁舎1階には12月に無料職業紹介所も開設した。平成31年4月1日からの課新設実施で各課窓口案内に町民や来庁者が戸惑うことはないか。

答 1階カウンターの一部をローカウンターに改修し、利用向上を図る。

提案 案内板の設置や分かりやすいカウンター配置に努めること。

一般会計補正予算

小学生交通危険防止事業補助金 67万円

問 補助金交付対象となる自転車用ヘルメットとは。

答 新品で学校側が推奨するSG基準に適合したもの、またはこれと同等の安全基準を満たした自転車用ヘルメット。

▲SGマークヘルメット

問 年度途中からの実施で不公平感はないか。

答 平成30年度中に購入した分から補助対象になり、領収書のない方は販売店などの証明があれば補助対象となる。

土砂等撤去手数料 400万円

基肄城跡災害復旧工事 410万円

問 基肄城跡災害復旧工事の内容は。

答 土砂等撤去手数料で水門周辺のがれき・流木の撤去を行い、2次災害の防止と通路の確保を行う。基肄城跡災害復旧工事で基山（きざん）山頂部の崩壊箇所の安全対策を含めた復旧を行う。

問 平成31年度以降の災害復旧計画は。

答 県による治山工事と並行しながら、平成31年度に管理道路および城内散策路の土砂撤去並びにのり面復旧、平成32年度に水門周辺の環境整備を実施する予定。

所管事務調査

「基肄城跡」至る所で土砂崩れ発生

水門跡は平成27年に全面的な修復が終わったばかりだったが、水路の両護岸や水門跡までの町道、隣接する田畑は大きな被害を受けていた。水門横の町道を200㍍ほど登ると、町道も杉林も無数の岩で埋め尽くされ被害が甚大だった。基山山頂も東側斜面の一部が大きく削られ登山者に危険を及ぼす恐れがある。

委員会として、国や県からの財源や専門知識を持つ人的派遣について強く要望していくよう提案した。

▲水門跡から200㍍上流地点

町立保育所等建設用地の取得

湧水および排水処理について検討を要請

厚生産業常任委員会

審査、調査の担当課　住民課・こども課・健康福祉課・定住促進課・産業振興課・建設課

第4回定例会 議案審議

町立保育所および子育て交流広場建設用地の財産（土地）の取得

取得金額　1億2155万円

問　取得する土地の積算単価はどのように決めたのか。

答　平成11年から13年にかけての取得金額および利息を参考単価とし、乗じた額を積算した。

問　法定外公共物だった土地の利活用は。

答　現在は町所有となっており、購入予定地と一体的に利活用する。

提案　保育所の立地として適正な場所であるのか多くの議論が行われた土地であり、今後は地質調査の結果を踏まえ湧水および排水処理についてさらなる検討を加え、追加予算が発生しないよう実施設計および建設工事に取り組むよう提案。

▲庁舎西側の町立保育所等建設用地

地質調査業務委託料

▲105万円

問　この計画は、特定の農事法人への指定管理ありきで進めていたのか。

答　加工場の老朽化対応について協議が始まったことであるが、その他の関連事業者を含めて協議を行ってきた。

デジタルサイネージ整備業務委託料

800万円

問　整備の目的は。

答　歩行者の目線としての道路標識であるが、周辺情報やイベントの情報を補足して表示を行う。駅自由通路は多数の表示が必要であるため、タッチパネル方式のデジタル化を採用する。

提案　予算組み替えが頻繁に行われるようになっているため、予算計上時にしっかりと検討するよう提案。

一般会計補正予算

臨時雇賃金

▲244万円

問　保健師の募集に対して応募がない要因は。

答　昨今の人材不足もある。もう一度、近隣市町の賃金体系を含めた調査を行う。

農産物加工施設の建設工事実施設計

▲466万円

所管事務調査

母子保健推進員との意見交換

推進員は、母性および乳幼児の健康の保持増進を図る目的で、健診等診断時の援助や育児環境把握のための家庭訪問を、保健師とともに定員19名で活動している。

委員会として、推進員の認知度を高める努力と併せて、保健師等専門職の増員を前向きに検討するよう、町に提案した。

11区通いの場を視察

通いの場については、拙速に自立の効果を期待するのではなく、無理なく継続していける事業となるよう提案した。

▲11区通いの場での体操のようす

平成30年度　一般会計　補正予算

2億2131万円を追加　　予算総額は98億2755万円に

小中学校の特別教室にエアコン設置

災害復旧費、福祉費で増額した12月補正予算

主な歳入

７月豪雨災害の復旧費、国・県の負担金、補助金等による歳入

農林水産業費分担金（農林地崩壊防止事業分担金）	334万円
民生費負担金	733万円
民生費国庫負担金	2057万円
民生費県負担金	894万円
災害復旧費県補助金	1111万円
財政調整基金繰入金	8300万円
町債（消防/教育債）	3290万円
教育費国庫補助金	1757万円
ふるさと応援寄附基金繰入金	2489万円

主な歳出

高齢者運転免許自主返納支援事業補助金　52万円
高齢ドライバーの運転免許自主返納者に対し、電動カートの購入費補助やタクシー料金の一部補助

児童福祉総務費（保育園施設給付費）　1626万円
たんぽぽ保育園の園児数の増加

農産物加工施設建設工事実施設計委託料
農産物加工施設建設に伴う地質調査委託料　▲571万円
指定管理者の後継者不足による加工施設の運営見直し

デジタルサイネージ整備委託料　800万円
JR基山駅自由通路の歩行者用道路案内標識

交通危険防止事業補助金（小中学生）　90万円
安全対策のため小中学生のヘルメット購入費用の補助

農林地崩壊防止工事、林地崩壊防止工事、
JR近接のり面復旧事業負担金　2911万円

小中学校３校のエアコン設置工事費　7522万円
基山・若基小学校および基山中学校の特別教室

▲復旧が急務な基肄城（水門）跡

▲小中学校の特別教室にもエアコン設置

国民健康保険　特別会計　補正予算　　41万円を追加　予算総額21億3792万円

全議案および賛否表

全会一致で可決した議案

平成30年　第4回定例会（12月3日～13日）

議案番号	議案名
議案38	課設置条例の一部改正について
議案39	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部改正について
議案40	町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
議案41	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正について
議案43	町民会館の指定管理者の指定について
議案44	体育施設の指定管理者の指定について

議案番号	議案名
議案45	平成30年度一般会計補正予算（第５号）
議案46	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第３号）
議案47	平成30年度下水道事業会計補正予算（第２号）
議案48	平成30年度一般会計補正予算（第６号）
発議２	議会基本条例の制定について

賛否が分かれた議案

○賛成　×反対　議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	賛否表 1 松石健児	2 大久保由美子	3 末次明	4 棊野久明	5 久保山義明	6 牧薗綾子	7 木村照夫	8 河野保久	9 重松一徳	10 鳥飼勝美	11 大山勝代	12 松石信男
議案42	財産（土地）の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容（概略）	結果
意見書	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書	１．被災者生活再建支援制度については、被災者生活再建支援金及び被災者生活再建支援法人に対する国庫補助の見直しを検討すること。 ２．被災者生活再建支援基金への都道府県の追加拠出に対し、過去と同等の地方財政措置を講じること。 ３．被災者生活再建支援金の支給対象となる世帯の範囲については、被災した世帯の実情に応じた柔軟な対応を可能とすること。	採択（全員賛成）
陳情書	TPP発効見直しを求める陳情書	日米自由貿易協定（FTA）交渉をした可能性があり、TPP以上の難題を求められる可能性があるため、国へTPP発効見直しを求める。	全議員に配布

平成31年 第1回基山町議会 定例会会期日程（案）

月	日	曜日	議事内容	備考
3	1	金	本会議	会期決定・提案理由説明等・予算特別委員会設置
	2	土	休会	
	3	日	休会	
	4	月	本会議	一般質問
	5	火	本会議	一般質問
	6	水	本会議	一般質問
	7	木	本会議	議案審議・委員会付託
	8	金	休会	
	9	土	休会	
	10	日	休会	
	11	月	委員会	総務文教常任委員会
	12	火	委員会	厚生産業常任委員会
	13	水	委員会	各常任委員会調整
	14	木	本会議	各常任委員長報告・討論採決・予算特別委員会
	15	金	委員会	予算特別委員会
	16	土	休会	
	17	日	休会	
	18	月	委員会	予算特別委員会
	19	火	委員会	予算特別委員会
	20	水	委員会	予算特別委員会調整
	21	木	休会	
	22	金	本会議	予算特別委員長報告・討論採決

行政視察

住みやすいまちづくりを目指すため

総務文教常任委員会

平成30年11月12日～14日で視察

校区まちづくり協議会の取り組み　福岡県中間市

自治会加入率が60・1％と減少している。今後は高齢化や後継者不足などが進み、役員の担い手がいない。

そこで、数年先を見据えた市内小学校区に、1校1組織の「校区まちづくり協議会」を設立した。この協議会が自主的に地域行事を行うことで、地域の結束力を高め、住みやすいまちづくりを目指している。

環境・温暖化対策の研修　山口県美祢市

美祢市は、大きな煙突群がそびえ立つ石灰岩のまちである。大気汚染・水質汚染・騒音・悪臭・土壌環境等の公害防止に取り組み、それぞれの環境基準を詳細に定めている。環境は違うが、基山町も企業の生産活動に伴って発生する公害防止について各事業者と協力し、公害防止に努める公に関する協定書（基本協定）を結ぶ必要がある。

▲環境対策に取り組む山口県美祢市にて

長門市みすゞ学園　山口県長門市

長門市の各みすゞ学園では、地域の特性や児童生徒の実態を踏まえた共通の目標を設定している。地域育協ネットの活用を図りながら、9年間の一貫した教育が推進されている。訪問した油谷小学校では、「トライアングル事業」として地域住民を学校内に受け入れ、授業聴講とカレーライスとサロンの日を開催している。学校の空間を活用し、楽しみ、生きがいを高め、地域とともに共存する学校づくりを目指している。

行政視察

高齢化が進む空き家対策や定住促進、地域の活性化を先進地に学ぶ

厚生産業常任委員会

平成30年11月7日～9日で視察

定住促進および空き家対策の取り組み　石川県津幡町

人口の自然増対策として特筆すべきは、三世代ファミリー同居等促進事業補助金で、平成29年度は21件の申請があっている。県の支援制度とリンクしながら想定以上の申し込みがあり、495万円の予算執行となっていた。この制度は、50㌔圏内に新築や改築を行う場合の補助であるが、基山町の場合、同じ敷地内が難しいため近居の考え方を考慮した取り組みを検討すべきと感じた。

空き家対策の取り組み　福井県越前町

人口減少とともに核家族化が進行し、平成29年度は411人もの人口減少となっている。また、高齢者単身世帯も663世帯（平成24年）から801世帯（平成28年）と急増し、いわゆる空き家予備軍も増加傾向にある。そういった現状を抱えながら、特定空き家も9・1％あり解体の代執行など様々な問題を聞けた。

地域プランコンテストの取り組み　福井県鯖江市

11年目を迎えたこのコンテストは、今年度はまた新たな取り組みを行い、地元中高生を巻き込みながら、また大人版の地域活性化のアイデアを募っている。

民間協働による空き家対策　福井県美浜町

NPO法人ふるさと福井サポートセンターでは、美浜町と空き家対策で連携する協定を結び、両者の扱う空き家に関して情報を共有し、調査も定期的に実施している。

▲古民家を改造し地域活動の拠点に

問 基山PA周辺の安全面整備を急げ
答 ボックス歩道内照明をLED化

木村照夫議員

問 高速基山バス停の乗り継ぎ社会実験の結果は。

答 平成19年7月から8月に国土交通省、基山町、西日本高速道路㈱および九州バス協会加盟各社等による社会実験検討委員会で行った。バス停での停車便数の倍増や乗り継ぎ割引運賃の設定、停留所等への高速バス運行情報表示板取り付け、上り線と下り線間の案内板の設置。その結果、基山バス停での乗客数が実験前から3倍増となるなど、実験は成功した。

問 高速バス停下り線通路の施設管理が悪い。管理者は誰か。

答 のり面草刈りは西日本高速道路㈱が管理している。町は町道横の駐車場、駐輪場の管理およびボックスの歩道管理。

問 上り線と下り線の乗り換え時に通行するボックス歩道内の照明が、昼間でも暗くて安全意識が不足している。街路灯であれば、照度アップできないか。

答 LED化を検討する。

問 ボックスがある町道三国・丸林線の整備課題は何か。

答 九州旅客鉄道㈱で管理されている鹿児島本線の踏切改良整備を早期に進めることが課題である。改良工事により歩道新設を予定している。軌道敷地内は管理者が行うため、詳細協議を円滑に進めている。

▲昼間でも暗い基山バス停下ボックス

問 利活用可能な空き家の課題は
答 管理状態含め家財や相続が課題

久保山義明議員

問 現在把握している空き家件数と高齢者単身世帯数は。

答 空き家数は162件で、高齢者単身世帯は平成27年度で475世帯と把握している。

問 空き家の調査体制は、各行政区長ではなく、集落支援員や地域おこし協力隊、また地域の民間団体への委託等も考えるべきでは。

答 区長や組合長が地域の実情を把握されている。ただ、実態調査等の一部では委託を考えた方が良い部分もあり、検討する。

問 課題である相続登記については、国も義務化の検討を始めた。町でいち早く取り組む考えは。

答 相続登記自体にお金がかかる。課題となっている家屋は、その登記料さえも払っていただけない状況があると認識している。

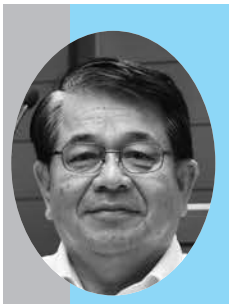
問 今後の利活用に関する補助制度等を検討する際に、空き家バンク登録を条件とすることは。

答 もし行うとすれば、空き家バンク登録も条件となると考える。

問 地域課題のモデル地として、固定資産税の減免措置を段階的に見直すことはどうか。

答 税をもって課題解決することは有効と考えるが、まだ利活用対策がこれでいいとは思っていない。様々な施策を打つ中で、固定資産税についても検討する。

▲空き家利活用の住宅



問 都市計画道路の今後の整備計画は
答 これから議論していく

棄野久明議員

問 町道白坂久保田2号線の完成年度に変更は。

答 平成31年度末を予定している。

問 接続道路の町道三国・丸林線の整備計画のスケジュールは。

答 来年度は道路用地取得に関する地権者協議を計画し、その後の工事はボックス部から改良予定。

問 完成年度はいつ頃を予定しているのか。

答 補助対象工事であることから、今後の協議によって確定されるが、平成35年度末を予定。

問 町道黒谷線の未整備区間の着手時期は。

答 町道白坂久保田2号線や町道三国・丸林線の整備を優先しているため、着手時期については未定。

問 町道黒谷線は、災害時には迂回路にはならないか。

答 各産業用地へ接続している、区画道路と考えている。

問 都市計画道路の今後の優先順位は町道黒谷線と考えているが、見解は。

答 残された都市計画道路としては町道黒谷線が上位であるが、都市計画マスタープランにはほかの道路計画もあり、着手順位は確定したものではない。今後の財政事情やニーズを把握した上で、これから議論していく。

▲行き止まりの黒谷線

問 少人数学級への導入希望は
答 基山小はTTを希望する

大山勝代議員

問 新聞報道にもあるように、県教育委員会は来年度から1クラス35人以下の少人数学級を導入できる方針を出した。町は希望調査をどう出したか。

答 若基小と基山中は少人数学級を選択し、基山小はチームティーチング（TT）を希望した。

問 児童がより細かな指導が受けられ、担任教師の負担が軽減されるためには少人数学級がより効果的だと考えるが、対象の基山小の新6年生は、なぜ少人数を選択しなかったのか。

答 学校内の話し合いでTTをしたいとの希望になっている。

問 町立図書館が開館して2年近くになる。下校時に図書館に立ち寄りたいとの子ども・保護者の希望があるが、その検討はどこまで進んでいるか。

答 基山小ではPTAと協議し、今後は各家庭への調査も考えている。基山中もさらに検討したい。

▲図書館から向かい合わせの基山小

まちづくり活動拠点の整備を

問 町には地域づくりを担う施設として、町民会館・多世代交流センター憩の家・福祉交流館などがあるが、統一性がない。まちづくり推進センターとして整備できないか。

答 それらの施設は設置目的に沿って運営し、町民に活用されている。必要な改善を加え、現状の体制のままで続けていきたい。

問 公共施設等総合管理計画で若基小は
答 基山中の大規模改修の後に計画を

牧薗綾子議員

中長期財政計画の見直しに変化は

問 国レベルで対応が必要な災害が頻繁に起こる中、一般財源の確保に関しての将来の見通しは。

答 平成30年度で、災害復旧事業費の町負担は約3割。予算の柔軟性を持つことが重要。基金残高を確保しておくことも必要。

問 平成37年度までの収支試算で想定される数字の変更はどの程度で、どんな影響が考えられるか。

答 平成31年度に予定している復旧事業を含め考えると、町負担はおおよそ3億円で、影響として基金の減少スピードが早まる。

問 公共施設等総合管理計画の実施に当たり、その状況は。

答 中学校は、平成28年度から大規模改修に、基山保育園は、本年度から建て替えに着手。老人憩の家は、多世代交流センター憩の家に改修した。

▲建て替えに着手している基山保育園の新イメージ

中心市街地活性化基本計画で見えてくる町の青写真は

問 目標指標をクリアしていく中で、その経済効果は。

答 具体的に算出していないが、一体的な事業実施による機能充実で、中心市街地のにぎわい・利便性・魅力が向上する好循環が生まれることを見込んでいる。

問 基肄城跡復興ボランティアを
答 安全が確認できれば、検討したい

重松一徳議員

7月の豪雨で基肄城跡がある基山（きざん）が被災した。被災状況と復興計画についてただした。

問 基肄城跡の災害状況は。

答 城内中央部が長さ500メートルにわたり、大規模な土砂崩れを起こした。山頂部や管理道路ののり面、散策路も崩壊し、水門周辺も瓦礫や流木、土砂が堆積している。

問 復旧に向けて、国や県との協議は進んでいるか。

答 災害復旧の内容や国費・県費の補助、工事に伴う事務的手続きの方法など協議を行っている。

問 復旧・復興までの工程は。

答 現在のところ、3年程度かけて以前の状態に戻す復旧計画を予定している。治山事業と並行して、平成30年度にきざん山頂の崩落部の復旧と水門周辺の瓦礫撤去を行い、平成31年度に管理道路と散策路の土砂撤去・法面復旧、平成32年度に水門周辺の環境整備を行う予定。また、随時遺構の有無の確認や発掘調査も実施する。

問 きざん山頂部の崩落箇所の修復に、多くの町民が参加して行う基肄城跡復興ボランティアの取り組みを行い、町のシンボルのきざん復興ができないか。

答 まずは安全対策工事を行い、安全が確認できれば検討したい。

▲基肄城跡の災害状況を議会で現地確認

問「モール商店街」への停車は
答 ダイヤ改正時に前向きに検討

河野保久議員

問 けやき台の現状を、町としてどのように見ているのか。

答 近年、若者たちが進学・就職で転出していること、65歳以上の高齢者が年々増加傾向にある等により、大きな問題があると感じている。けやき台の4つの区合同の取り組みや各区の自治活動に対する意識が高まっていると思う。

問 高齢化対策はどのように。

答 安否確認を取れる見守りネットワークの構築などを充実させていく。

問 移動手段の確保は。

答 主となるのはコミュニティバスと考えている。運行方法を含めた利便性を考慮し、平成31年4月からのダイヤ改正を検討している。

問 モール商店街にある病院へ行く利用者が多いので、現在停車していない「モール商店街」への停車は考えられないか。

答 ダイヤ改正時に前向きに検討する。

問 アトラスけやき台の戸建て計画に対する対応は。

答 事業者と連絡を取りながら推移を見守る。

問 けやき台の今後の展望をどのように考えているか。

答 住民の若返りが図られている。快適な住宅地として安全で良好な住環境を、町として維持していきたい。

▲アトラスけやき台の戸建て計画は

問 小中の特別教室にエアコン設置を
答 夏までに設置する

松石信男議員

問 今年の夏は記録的な暑さで、連日35度以上の猛暑日が続き、全国の小中学校では児童・生徒が熱中症で病院に運ばれたり、死亡した児童もいる。基山の児童・生徒、教師ではどうか。

答 基山小で16名、若基小で3名、基山中では27名が運動会練習時や部活動、休み時間に体調を崩した。30度を超える日があった。

問 政府はエアコン設置に補正予算817億円組んだ。基山小中の音楽室や理科室などの特別教室にはエアコンの設置がされていない。来年（平成31年）の夏までに設置を求める。

答 文科省の交付金を受けて、来年の夏までに設置する。

問 今年、教室の温度が17度以上28度以下に改定されたが、特別教室で基準を超えた日は何日あったのか。

答 7月から9月にかけて18日間

▲小中の特別教室にエアコンが設置

学校給食費に助成を

問 文科省の調査では、全国で506自治体が学校給食費の無償化・一部無償化を実施。県内の20市町では12市町が実施している。また、高校生までの通院費の助成は県内では7市町と広がり、子育て環境の整備が進んでいる。子育て支援の拡充を求める。

答 給食費補助はまったく検討しないというわけではない。高校生の通院費助成は、今年度決算など財政状況を考慮し判断したい。

問 再婚応援事業は効果的な事業か
答 町の姿勢を示すことになる

松石健児議員

婚活支援事業とセカンドマリッジ（再婚希望者応援）事業

問 婚活支援事業の実施状況および参加人数は。

答 平成28年度3回。参加者数は、男性53人、女性36人。平成29年度4回。参加者数は、男性40人、女性50人。平成30年度は4回の事業を予定している。

問 セカンドマリッジ事業で、子どもがいる対象者には、まず精神面のケアの他、実子でない親子関係の難しさ等、再婚の際の課題についてのアドバイスを併せて行う必要があるのでは。

答 婚活支援員とともに十分な配慮をしたい。また、本町はひとり親世帯の割合が全国平均よりも高く、様々な方への結婚支援を行うことによって町のイメージアップにも繋がると考える。

介護保険制度の見直し

問 本年10月の見直しで、「生活援助」において、利用者のサービス利用回数に上限を設け自治体がチェックする仕組みが導入された。ケアマネージャーが指摘を恐れ、回数を制限したりする恐れはないか。また、認知症で1人暮らし家庭の件数は把握しているか。

答 利用回数は、自立支援ケア会議において十分議論している。今後も上限にこだわらず、介護の質を上げていくことに注力したい。要介護認定を受けた方の認知症自立度Ⅱ以上は19人。非常に多いと思うので対策を打ちたい。

▲生活援助の新たな仕組み

問 ふるさと納税返礼品の見直しは
答 総務省の要請に応じルールを守る

末次明議員

問 総務省からのふるさと納税返礼品内容や調達率の見直し要請に対する町長の率直な見解は。

答 総務省を訪問し、担当課長と意見交換した。制度の安定的存続のためと理解し、要請に応じて返礼品調達率を3割以下にする。今後も一定のルール内で町内の事業者に協力していただき、アイデアを出し合って新返礼品の開発など、いろんな知恵を絞っていきたい。

問 ふるさと応援寄附基金をどのように運用して、寄附者が共感できるような事業を行うのか。

答 今後も基山町のまちづくりに資する地方創生事業等に活用を図っていきたいと考えている。

町営住宅の健全経営の取り組み

問 町営住宅の空室理由は何か。利便性があり入居者に優しい住宅が求められているのではないか。

答 空室は、本桜団地の3階や4階に多くあり、駅から遠い立地条件も一因であると考える。駅に近い割田団地では、空室期間が短く、問い合わせも多い。園部団地は、現在入居受け付けをしていない。

問 本桜団地の改修計画は。

答 郵便受けを含め、設備の個別施設に係る長寿命化計画を検討し、策定することを予定している。

▲入居しやすい環境が求められる本桜団地

問 町道塚原・長谷川線の延伸はいつか
答 今後延伸について検討する

鳥飼勝美 議員

問 30年前から計画されている、町道塚原・長谷川線の延伸工事が放置されているのはなぜか。

答 昭和61年から総合計画に計画路線としてあるが、財政問題や優先整備順位により未着工である。

問 町長の地区懇談会での発言では、整備する可能性が早まってきたと回答されているが。

答 延伸の可能性については、地域住民や地権者の方等と意見交換していくことが必要と考える。

▲延伸計画の町道塚原・長谷川線

行政改革について

問 行政改革推進の取り組みで重要な自主財源の確保策は何か。

答 子育て・若者世帯の定住促進等の施策による町税の増収、徴収率の向上、ふるさと応援寄附金や広告料等の増収を図っていく。

問 各種補助金が適正に支出されているのか、第三者による検討委員会の設置が必要ではないのか。

答 早い段階に補助金等検討委員会を設置する。

問 職員定数管理計画を早急に見直し、民間委託、事務の統廃合、職員の職種転換等を実施し、適正な職員定数管理計画を策定すべきではないか。

答 現在の職員定数管理計画が本年度で終了するので、来年度からの計画を現在策定中である。

問 プラスチック製容器包装の資源化を
答 可燃物として溶融し、発電に活用

大久保由美子 議員

問 ごみ分別での問題は何か。

答 資源化できるごみが、可燃ごみの中に多く見られる。広告紙、雑誌、紙類が混入している。

問 リサイクル率の目標値と結果からの評価と課題は何か。

答 平成29年度は、リサイクル率の目標値29・40％に対し、実績24・74％と下回っている。有効な対策が見いだせないのが課題である。

問 町が取り組んでいない資源物は何か。

答 プラスチック製容器包装、ペットボトルキャップ、生ごみ、割り箸、紙おむつがある。

問 プラスチック製容器包装の資源化をしない理由は。

答 町民は分別、排出の手間が増え保管場所の確保が必要となり、町は処理委託費用等が増加する。

葬祭公園の早期建て替えは

問 葬祭公園の長寿命化はいつまでするのか。また、建て替えの検討委員会設置の考えは。

答 公共施設等総合管理計画で、2038年まで維持できるよう計画的に修繕を行い、使用する。委員会の立ち上げの予定はない。

問 冬の寒さ対策に暖房便座を。

答 トイレ内の電気設備の調査をし、様々な意見を参考に検討する。

▲どうなる建て替えは

子ども議会で 町の観光や防災を議論

平成30年第１回子ども議会を、議場で10月20日（土）に開催しました。
基山中学校３年生が、自分たちで作成した３つの条例案を町長役、課長役、議員役に分かれ町議会議員もサポートをしながら、活発な議論を交わし３議案とも賛成多数で可決しました。
校長先生をはじめ、生徒の皆さん、関係各位のご協力ご支援ありがとうございました。

真剣に取り組む議場の様子

議案採決で賛成起立する議員

議案第１号　基山町の観光資源を活用した施設とにぎわいに関する条例制定

問 レストランで出すメニューに、町の特産品を使った物とは何がありますか。

答 エミュー、イノシシ、アスパラガス、マコモダケ、柿、お茶、ぶどう、米等です。

議案第２号　基山町の自然を活かした町の活性化に関する条例制定

問 議案はハイキングコースの整備が主ですが、基山（きざん）に登山者を増やすためアスレチック遊具を設置してはどうですか。

答 貴重な意見なので前向きに検討します。

議案第３号　基山町の災害の対応に関する条例制定

反対討論 年１回の防災講座だけでなく防災訓練も必要で、議案内容が足りないので反対です。

賛成討論 避難経路や備蓄品の確認、ハザードマップにアプリ機能を付ける、防災講座をするなど、町民の意識を高めるので賛成します。

参加した生徒の感想

・条例をつくる時に、まず基山のことを調べ、改善点を見つけ、より良い町にするために話し合いました。
・子ども議会のおかげで基山の魅力や解決すべき課題を改めて認識でき、そして、基山町がさらに好きになりました。
・町についてこんなに深く考えて、町に必要なものは何か、どうすればもっと良くなるのか、みんなで話し合うことは今までにない貴重な経験になりました。
・自分の意見に自信がもてず不安もありましたが、１人ひとりがそれぞれの視点で議案について考え、楽しんで発言をすることができました。

休憩中、議員と和やかに談笑

編集後記

子ども議会を開催して

今回、参加した生徒たちは、さまざまな学校行事の合間を縫って、初めて作る３つの条例案を最後まで話し合いを重ねて作成しました。当日は、議員役の生徒たちが何度も質問をする中、執行部役の生徒も難しい質問に苦慮しながらもしっかりと答弁をしました。また反対、賛成討論にも積極的に発言して、さすが基山中の生徒たちです。大変頼もしく感心させられた子ども議会でした。

そこで、生徒たちが作成した議案をもとに、議員発議を提案していく予定です。

（大久保由美子）

広報広聴常任委員会

委員長　牧薗　綾子
副委員長　松石　健児
委員　木村　照夫
委員　葉野　久明
委員　末次　明
委員　大久保由美子

子ども議会に参加された皆さん、ありがとうございました。

町長　梅田 歩乃花さん

子ども議会当日の様子は、町議会ホームページをご覧ください。

町議会ホームページ
https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/default.html

課長　鎗光 和佳那さん

課長　坂口 美月さん

課長　野口 優太さん

議員　白水 菜乃佳さん

議員　坂口 穂乃果さん

議員　池末 菜月さん

議員　佐藤 遥翔さん

議員　副島 颯太さん

議員　藤尾 美季さん

傍聴者の声

・ぜひ続けたほうが良いと思う企画です。町について考える、町を改めて知る、自分の考えを発表する機会になるので、中学生にとってとても良い経験になると感じました。
（30代　男性）

・初めて参加してとても勉強になり良いことと思い、多くの方にお勧めしたい。また、このような機会を多くの方に知ってもらいたいと強く思いました。
（60代　男性）

・中学生とはいえ、議案内容などもよく考えていて感心しました。これを機に色々なことに興味を向けてくれるとよいなと思います。
（40代　女性）

議員　髙橋　柚希さん

議員　西平 百花さん

議員　長野 陽人さん

議員　米森 美羽さん

発行／基山町議会　編集／広報広聴常任委員会　〒841-0204佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666番地　☎（0942）92-6543（議会事務局）
印刷／大同印刷株式会社　〒849-0902佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20　☎（0952）71-8520㈹